

Y. ニミヤんより。

卒業から約20年。元気にはしているかな？

大学の思い出と言えば Y 一色だった私。英文科の笑顔のステキな飯島先生、実はくせ毛だと教えてくれた村松先生、紳士的だった英教先生など、印象深い先生方の授業、いつもラピオ本と片手に学バスに揺られたことや教職課程の勉強...と思い出は盛り沢山だったけれど、やはり Y との放課後が私の学生生活そのものだったよ。毎日のようにドライブして、食べ歩きにお買い物三昧で本当に楽しかったね。お互い暇を見つては一緒にいいね。だからなのかい私とは正反対で正義感の強いし、

カリ者の Y。1限の授業のために早起こしてくれたり、ラピオ読みよ！と叱ってくれたり。何から何まで色々面倒見てもらったね。私は Y のおかげで卒業が出来るのだったと思ってる。

偏食の私の体のことも考えてくれて、好き嫌いは体に悪くないよって延々と説明もしてくれて。でも、マユで私は私が嫌いなヒヨドリを食べてくれたよ。大学近くのカレー屋さん、インド人がやって

にあの本格的な所ね。臭いものとネバネバには栄養があるんだから食べなよ！と力説して本気で臭いラム肉も完食出来たわう Y は頼もしかったよ。

Y は私のスタイリストでもあり、普段着はもろろん、パーティー衣装や謝恩会ドレスも全部 Y が選んでくれた。どろどろ夏にはパーカにビニール入り込んで私の水着までゲットしてくれてね。そんな勇敢で完璧な Y を、頑張りすぎたりし過ぎる事があると、グツと胃にきちゃんだよね。人の気持ちも考えられるからこそ、繊細にならなくて辛くなることもあったね。弱い一面を見せてくれると、守ってあげたい、と張り切っていた私。 Y との毎日が楽しくて楽しくて...

本当にありがとう。

Y が筆をのこしてくれておかげで、今でも Y からのお手紙を読み返せるよ。だから今度は私から。この手紙が愛する Y に届きますように。

亜衣より